

(参考資料)

① 鋼材平均価格(JFEスチール, 単独ベース)

平成14年上期実績	45.1千円/t
平成14年下期実績	47.5千円/t
平成15年上期実績	50.5千円/t

② 粗鋼生産量(JFEスチール, 単独ベース)

平成14年上期実績	1,319万t
平成14年下期実績	1,329万t
平成15年上期実績	1,341万t

③ 鋼材輸出比率(JFEスチール, 単独ベース)

(金額ベース)

平成14年上期実績	41.1%
平成14年下期実績	39.0%
平成15年上期実績	40.7%

④ 有価証券含み損益(JFEホールディングス, 連結ベース, 単位:億円)

平成15年上期末	405億円(含み益)
----------	------------

⑤ 特別損益の内訳(JFEホールディングス, 連結ベース, 単位:億円)

	平成15年 上期実績	平成15年 年度見通し
退職給付引当金繰入額	▲ 113	▲ 220
投資有価証券評価損	▲ 25	} 合計で ▲ 180
関係会社厚生年金基金脱退損	▲ 15	
資産廃売却損益等	-	
合 計	▲ 154	▲ 400

⑥ 為替レート(円/\$)前提

平成15年度については、約118円/\$でほぼ全量を予約済みである。

⑦ 1円の円高が利益に与える影響

平成15年度 : 1円の円高に対して、19億円程度の減益  
(ドル収支では、19億\$/年程度の受取超過)  
但し、今年度はほぼ全量を予約済みであり、影響軽微。 ※

⑧ 営業利益の増減内容(平成15年度通期見通し。対平成14年度実績比較)

鉄鋼事業	+1,021億円 (1,329億円→2,350億円)
(内容) コスト変動	235 (原料価格 ▲260、その他+495⇒営業利益改善の約半分) (注) 金融収支も含めたコスト変動額は、+280程度
為替レート	▲ 150 (レート 121.9→114.4(為替予約前) ▲7.5円円高) ※ 別途営業外収益にて、為替予約差益 +80程度有
償却方法変更等	▲ 210 (京浜、福山定額法⇒定率法▲115、増加償却▲95)
数量、構成、価格	940 (オンリー1、ナンバー1等高級品の増加含む)
その他	206 (グループ会社ほか)
エンジニアリング事業	▲78億円 (128億円→50億円)
(内容) コスト合理化の効果(+50億円程度)はあるものの、環境部門をはじめとした事業環境の悪化、昨年9月の造船事業の分社化の影響などにより、営業利益は減益の見通し	
都市開発事業	+7億円 (10億円→17億円)
(内容) 分譲マンションの販売増により増益の見通し	
LSI事業	+38億円 (12億円→50億円)
(内容) 販売増およびコスト削減(+10億円程度)により大幅な増益となる見通し	